

| | | |
|---------------------------|---|---------------|
| No.176 | カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発/CO2排出削減・有効利用実用化技術開発 /液体燃料へのCO2利用技術開発/先進的な合成燃料製造技術の実用化に向けた研究開発 | |
| 機関名 | 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 | |
| 募集締切 (公募機関) | 2025年2月28日(金) 正午アップロード完了 | |
| 学内締切日 | 研究推進部 事前連絡締切日 | 2025年2月14日(金) |
| | 原議書提出締切日 | 2025年2月21日(金) |
| 応募方法 | WEB入力フォームによる提出及びe-Radによる提出 ※本公募は事務局において事前了解の手続きを行います。Web入力フォームへの提出及びe-Radへの応募情報の入力には各申請者が行ってください。 | |
| 所属研究機関の 承認(e-Rad) | 不要 | |
| 研究推進部 事前了解 (原議書の回付) | 必要 | |
| 概 要 | <p>【概要】 今般NEDOでは、この第1期基礎研究事業を踏まえた次のステップとして、早期の社会実装に繋がる、より製造・エネルギー効率に優れた先進的製造技術の確立を目的として、第2期要素研究事業の公募を行うこととしております。</p> <p>第2期(2025-29年度)では、更に高効率に電解技術等で合成ガスを製造、FT合成により、狙った合成燃料への転換技術を確認します。第1期の10kW級一貫製造プロセスベンチ試験機(製造効率50%)を踏まえ、第2期ではよりスケールアップした電解モジュールを製作、これと次世代FT反応技術等を組み合わせた先進的一貫製造プロセスで、再エネ変動環境での安定運転および製造効率60%以上に目途を付けることを目指しております。また同時に、本技術により製造される合成燃料の普及に向け、品質評価や規格化に向けた提案を行います。</p> <p>【想定される研究開発要素】 先進的な合成燃料製造技術の確立を目指し、例として以下の様な取組を行うことを想定しております(これ以外を除外するものではありません)：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高効率な合成ガス製造技術の開発 少ないエネルギーで効率的に原料から合成ガスを製造する技術を確認させる 2) 合成ガスから液体燃料への転換技術の開発 1)において製造した合成ガスをFT反応等によって狙った液体燃料へ高効率で転換させる技術を確認させる 3) 一貫製造プロセス実証 1)及び2)のプロセスをモデルプラントで実証し、一貫製造技術を確認させる 4) 合成燃料品質規格・認証等 1)～3)を通して製造された合成燃料の品質評価や規格化に向けた提案を行う | |

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。